

平成29年8月7日

魚沼市議会議長 森 島 守 人 様

福祉文教委員会

委員長 佐 藤 肇

福祉文教委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 現地調査
(2) 現地調査の総括
(3) その他

- 2 調査の経過 8月7日に委員会を開催し、小出郷文化会館及び堀之内医療センターの現地調査と総括を行った。
その他で、第7期介護保険事業計画について執行部の説明を受け、質疑を行った。

福祉文教委員会会議録

1 調査事件

(1) 現地調査

(2) 現地調査の総括

(3) その他

・第7期介護保険事業計画について

2 日 時 平成29年8月7日 午後1時30分

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 浅井宏昭、星野みゆき、大平恭児、佐藤 肇、関矢孝夫、本田 篤、
(森島守人議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 梅田教育長、桑原福祉課長、金澤健康課長、桑原介護福祉室長、
星生涯学習課長、小林介護保険係長

7 書 記 櫻井議会事務局長、関主任

8 経 過

開 会 (13:30)

佐藤委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから福祉文教委員会を開会します。これから本日の会議を開きます。

(1) 現地調査

佐藤委員長 日程第1、現地調査を議題とします。お手元に配付しました行程表のとおり小出郷文化会館及び堀之内医療センターの視察を行います。しばらくの間、休憩します。

休 憩 (13:31)

休憩中に現地調査

再 開 (15:43)

佐藤委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

(2) 現地調査の総括

佐藤委員長 日程第2、現地調査の総括を議題とします。まず、小出郷文化会館について、総括の意見ををお願いします。

本田委員 指定管理者が4月から受けてくださって精力的に活動されているところであり、それを応援していかなければならないのかなと思っています。そのためにも運営しやすい環境づくりというところで、施設の老朽化等で大分困っているという話がございました。指定管理である以上、建物の責任はやはり市が持つべきだと思いますので、指定管理者が運営しやすい施設になるように適切な補修をお願いしたいところだと思います。ただ、地下水を使う、上水を使うなどいろいろ話がありましたけれども、その辺は費用対効果も考えて検討していただければと思っています。

関矢委員 経営面については、もともと直営でやられていたときから懸案でした収支の面で、貸館事業の見直しということが大分議会の中でも言われていたと思いますけれども、フランチャイズ団体の使用料の減免を見直すというようなお話でしたので、もう少し注目していければと思っています。それから、今ほど本田委員が言われたように、30万円以下の修繕費は指定管理者側が負担するという話がありましたけれども、建物自体は市が持つものですから、きちんと修繕をした中で引き渡したのであれば修繕費を負担するというのもわからないではないんですけれども、そこまでしない中で修繕費を負担しなければならない経営者側としては、やはり大変ではないかと思っていますので、これは当局側もしっかりと考えていただきながら、建物の修繕、それから大規模改修も計画されているみたいですので、しっかりやっていただきたいと思いました。

大平委員 修繕については、そのような形でやっていただければいいんですが、そこに至るまで保守点検をやっているはずなので、そこはきちんとしてきたのかという感覚を持っています。まとめてこのように出される以前に保守点検しているわけですから、配管も含めて。そこら辺がどうだったのかなというのは少し疑問のところがありますので、今さらどうのこうのというつもりはありませんが、でも文化会館のような施設、特に利用があるときはあるし、全くないときは全くないところの維持管理は求められているかなと。そういうのを前提に建物をつくっていると思うし、保守点検、維持管理もまたそのような形でしっかりと対応していかなきゃいけないかなと思います。特に施設は魚沼市のものがありますので、大事な施設であり、目玉の施設の1つであります。特にお客様が利用される、見た目にも質的にも求められるようなことが今後も大事になってくると思うので、この委員会でも議論していきたいと思っています。あと、施設の運営についてなんですけど、4月からでなかなか事業としてはあまりやっていないとお聞きしましたが、今後あのような大きな施設の稼働率をどうやって上げたり、あるいは目玉をどうやって運営されていくのか、民間だからとか指定管理者だからという目線で私たちは見ないで、魚沼市の取り組みの目玉策となるようなことを一致協力してやっていけるような姿勢と考え方で、提案も含めてやっていけたほうがいいのではないかと個人的には思っています。

佐藤委員長 ほかにありませんか。(なし) 小出郷文化会館につきましては、今後も引き続き

き調査していくこととします。次に、堀之内医療センターについて意見はありませんか。

関矢委員 意見の前に質疑をさせていただきたいのですが、いかがでしょうか。

佐藤委員長 それでは、質疑を許可します。

関矢委員 平成12年にできた建物は設計委託に出されたということですが、社会福祉協議会と診療所が入る予定ですが、今後のスケジュールはありますか。

金澤健康課長 先週発注したばかりですので、これから社会福祉協議会と協議しながらどういうレイアウトにするか決めていきたいと思っています。いつごろ改修してというスケジュールはまだ決まっておりません。古いほうの建物の扱いが決まってからスケジュールを立てたいと思います。

関矢委員 まだ決まっていないということですが、今、旧庁舎の利活用と公共施設の再編計画、地域でのワークショップが始まっていますが、あの施設を見た中では福祉施設として非常に使い勝手がいいのではないかという声も聞きましたので、わざわざ改装して2階に社会福祉協議会を上げるよりは、堀之内庁舎の利活用もまだわかりませんが、空きスペースに社会福祉協議会ということも考えられるでしょうし、そういうことを総合的に考えた中で進めていけるのかどうか。

金澤健康課長 社会福祉協議会と調整したいのは1階部分だけで、1階に診療所と社会福祉協議会が同居できるか検討したいということで、2階以上はまだめどが立っていない状況です。

関矢委員 いずれにしても今後堀之内地区の皆さんの声を聞いた中で公共施設として一緒に考えていくということによろしいですか。

金澤健康課長 そのように考えております。

本田委員 堀之内病院は福祉関係の施設が中心になるかと思うんですけれども、ちょうど庁舎も含めて公共施設の再編が検討されている段階でありますので、当然この施設もその俎上にあると思います。そういった中で結論を出していくにしても、やはりここが医療・福祉の拠点であるように考えていかなければならないというところを改めて感じましたし、いろいろとアイデアを出せるところは委員会で調査して考えていかなければならないと思いました。

浅井委員 あれだけの新しい施設としっかりした設備が整っているので、今後はあるものを利用して進めていけたらと思いました。見た限りだと非常にもったいないの一言に尽きる設備がたくさんありましたので、そのように考えていけたらいいと思います。

星野委員 浅井委員と一緒にすけれども、あれだけの設備が整った中で地元住民としてはいきなりなくなってしまったという思いがある方が多くて、全く使えないわけじゃないのに何でなくなったという方々の声がきょうすごくわかって、視察できてよかったと思っています。前回の一般質問で市長がおっしゃっていたように、まずもって堀之内庁舎の利活用が決まってからというような方向だったような答弁が私としてはちょっと残念だったんですけれども、いずれにしても市民の声を早めに拾っていただいて医療を中心としての方向性が決まっていくことがありがたいと思っています。

大平委員 2階の部分は非常に素晴らしい施設だと私も思います。受け手がないということで今のような状態になっているというのが残念ではありますが、あの施設をもっとオープンに関係者を含む幅広い方に見ていただいて、そういう人たちからどういう利用ができる

のか、もっと突っ込んだ議論を働きかけていくのもありかなと。中だけで抱えてしまって施設をなかなか生かし切れていなくてあのまま置くというのは、星野委員が言われたように非常にもったいない話でありまして、しかも重要な施設、医療・福祉の拠点となるような施設を目指しているわけで、市議会もそうですけど幅広く関係者の方々に呼びかけたり、利用や今後の展望も含めて一緒に検討する場も必要かなと思っております。1点気になるのが、昨今災害がすごくあって、あの場所が今後洪水が起こらないことを願うばかりですが、起こることを前提に考えるならば、少し施設の整備も含めて考えていく必要があるのではないかと思います。災害で医療・福祉の拠点としてステイするような施設であるならば、非常に場所的にどうかなという、昨今の大規模災害に照らし合わせるとどうかなという部分もあるので、そこら辺も検討材料にしていかなければならないかと思います。

佐藤委員長　ほかにありませんか。(なし) 本件につきましても、今後も引き続き調査していくこととします。

(3) その他

・第7期介護保険事業計画について

佐藤委員長　日程第3、その他を議題とします。第7期介護保険事業計画について、執行部から資料が提出されておりますので、説明を求めます。

桑原福祉課長　第7期介護保険事業計画について、若干ご説明をさせていただきます。お手元の資料について、介護保険係の小林係長からかいつまんで説明させていただきますのでよろしくをお願いします。

小林介護保険係長　(資料「魚沼市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画について」「魚沼市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 在宅介護実態調査概要版」「地域包括ケア「見える化」システムによる介護保険事業の現状分析(概要版)」により説明)

佐藤委員長　これから質疑を行います。

関矢委員　今ほど介護度の認定率、近隣の南魚沼市や十日町市とほぼ同じくらいなんですけれども、介護予防事業が始まったことによって認定率が下がってきたのか、やったけどかわらずまだ上がっているというのはわかりますか。

小林介護保険係長　効果があったかどうか非常に難しいところかと思いますが、認定率の経年のデータにつきましては、手元にデータがありませんが必要があれば提供させていただきますし、予防の効果についても非常に分析が難しいところではありますが、今後研究してまいりたいと思います。

関矢委員　後で認定率の推移について資料としていただければと思います。

佐藤委員長　ほかにありませんか。(なし) 本件については、今後も引き続き調査していくこととし、本日は以上とします。ほかに執行部から報告事項等はありませんか。(なし) 委員の皆さんから協議事項等はありませんか。(なし) 以上で、その他を終わります。本日の会議録の調製については委員長に一任をいただきたいと思います。本日の福祉文教委員会はこれで閉会といたします。

閉　　会 (16 : 32)